

## 情報コーナー

### ★会合やイベント

## 第 26 回天文教育研究会ご案内（最終案内）

実行委員長 尾久土正己（和歌山大学）

主催：天文教育普及研究会

後援：和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、日本天文学会、日本惑星科学会、日本理科教育学会、日本地学教育学会、全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、和歌山大学（予定、交渉中を含む）

趣旨：天文教育の振興および天文教育普及活動の推進を目的とする集会

対象：学校教育機関、社会教育施設、一般天文普及家など、天文教育・普及に携わっている方、あるいは興味のある方、および天文教育普及研究会会員

期日：2012年8月5日（日）午後～7日（火）午前（2泊3日）

会場：和歌山大学（8/5 午後と 8/7 午前） 〒640-8510 和歌山市栄谷 930

TEL 073-457-8503 FAX 073-457-8535

URL <http://www.wakayama-u.ac.jp/>

休暇村紀州加太（8/5 夕方～8/7 朝） 〒640-0102 和歌山県和歌山市深山 483

URL <http://www.qkamura.or.jp/kada/>

TEL 073-459-0321

交通：和歌山大学：南海電車南海本線「和歌山大学前」下車、徒歩 20 分、バス 4 分  
新幹線の場合、地下鉄御堂筋線なんば下車、南海難波から約 1 時間  
関西空港の場合、南海電車空港線から南海本線乗り換え、約 40 分  
駅から大学へのアクセスマップ

[http://www.wakayama-u.ac.jp/file/guidemap\\_shinneki.pdf](http://www.wakayama-u.ac.jp/file/guidemap_shinneki.pdf)

休暇村加太へは、貸切バスで移動（約 20 分）

途中参加で、休暇村加太へ直接来る方は、休暇村公式サイトを参照

参加費：一般 2,000 円、学生 500 円、高校生以下無料

宿泊費：1泊 11,000 円×2（朝食、中日の昼食、夕食（懇親会）の食事代込）

年会 HP：<http://www.wakayama-u.ac.jp/ifes/tenkyo2012/>

テーマ：「天文教育の温故知新」

天文教育研究会は昨年（2011年）の第 25 回で若手の人たちのさまざまな活動にスポットを当てた「天文教育のニューウェイブ」をメインテーマに掲げ開催されました。今回の会場である和歌山は、戦前戦後、学校教員をしながら流星研究に取り組み、多くの後継者を育てた小槇孝二郎氏、自宅に国内で 5 番目のプラネタリウムを建設し、地域の天文教育の拠点施設として公開しながら、多くの天文教具を考案した高城武夫氏などが活躍し、今でもその指導を受けた人たちが学校教育や社会教育、そして同好会などの現場で活躍されています。

そこで、第 26 回の年会では、本研究会がスタートした四半世紀前よりも、さらに時代を遡り、半世紀前からの天文教育普及活動に目を向けたいと思います。基調講演として、和歌山でその時代に活躍された加茂昭様にお話をさせていただきます。若手の方とも意見交換をしていただき、天文教育普及の、時代を超えた普遍性と、これまでの大きな流れの中での今の位置づけを、みなさんで考えたいと思います。

プログラム（予定）：

第 1 日：8 月 5 日（日）（和歌山大学会場）

- 10:00～13:00 受付・デジタルドームシアター\*1、12m アンテナ HI 観測\*2  
自由見学
- 13:00～13:30 開会行事
- 13:30～15:45 一般発表 1
- 16:00～17:45 テーマセッション「天文教育の温故知新」  
特別講演（講師：加茂昭氏）  
「私はこれで会社を辞めました～コスモス 133 号と星の広場」  
ミニパネルディスカッション
- 18:00～19:00 休暇村加太へ移動
- 19:00～20:30 夕食・懇談  
（アルコール等の飲み物は各自で注文してください）

第 2 日：8 月 6 日（月）（休暇村加太会場）

- 9:00～12:00 特別セッション「金環日食、金星太陽面通過報告会」
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 ハイブリッドロケット打ち上げ\*3 見学  
（コスモパーク加太）
- 14:00～17:15 一般発表 2（一部特別セッション続き）
- 17:30～19:00 2012 年度 総会
- 19:00～20:30 夕食・懇談（アルコール等の飲み物は各自で注文してください）

第 3 日：8 月 7 日（火）（和歌山大学会場）

- 10:00～11:30 一般発表 3
- 11:45～12:30 まとめの討論
- 12:30～15:00 デジタルドームシアター\*1、12m アンテナ HI 観測\*2 自由見学

- \*1 デジタルドームシアター：4K のカメラで撮影した実写の映像をドームスクリーンに映しだす観光学部の研究設備。自然、民俗、美術、観光、防災などの番組を制作中。
- \*2 12m アンテナ HI 観測：口径 12m のアンテナを使い水素原子が出す波長 21cm の電波を受信し、私たちの銀河系の渦巻きの腕の様子を生々のスペクトルでお見せします。
- \*3 それぞれ安全な固体の燃料に液体の酸化剤を添加して燃焼させることで、爆発的な推進力を生み出すハイブリッドロケットの打ち上げを会場近くの射場で実演します。

<問い合わせ先> 和歌山大学宇宙教育研究所 天教年会係あて  
メール：（大会専用）  
FAX : 073-457-8535

---

---

## 全国同時七夕講演会 2012 のご案内

### 「全国同時七夕講演会」実行委員会

2009年の世界天文年を記念して始まった「全国同時七夕講演会」は、皆様の多大なるご支援ご協力のおかげで、今年も継続して天文学会主催、天文教育普及研究会共催で開催しています。

7月7日の七夕から8月24日の伝統的七夕までの期間を中心とし、その前後の期間にわたり、全国各地で同時に講演会を実施して天文学の普及活動を広げようというものです。

今年天文現象の当たり年、文字通り「ゴールデン・イヤー」です。広く一般の方々が天文学や宇宙に興味・関心をお持ちかと思えます。

決して大掛かりな講演会である必要はなく、通常行っている天文学関係の講演会や講義、サイエンスカフェ、さらには学校の教室での授業の一環といった、多様な形式で、お互いに楽しみながら気軽に開催ください。

今年の七夕講演会に登録していただいた講演会の一覧を七夕講演会のWebページで公開しています。

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/tanabata/>

◆今年の伝統的七夕は8月24日ですので、講演会開催登録はまだ受け付けています。

今後、講演会開催を予定されている場合、ぜひとも以下のWebページから情報をご登録ください。今後の広報や情報提供の際に活用させていただきます。

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/tanabata/join.html>

ご質問等は以下までお送りください。

- ・実行委員会宛

tanabata-core (あつと) [kwasan.kyoto-u.ac.jp](http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp)

- ・登録方法などの質問については事務局宛

tanabata-staff (あつと) [kwasan.kyoto-u.ac.jp](http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp)

また、関心をもたれそうな方々へも、お知らせいただければ幸いです。

柴田一成、「全国同時七夕講演会」実行委員会・委員長  
前原裕之、同・事務局長

---

---

## 夏の星空観望会

- ・期日：9月1日(土) 受付17時～ 観望18時半～20時
- ・場所：獨協中学・高等学校  
(JR「目白駅」よりバス白61で「椿山荘前」下車)
- ・参加：申込み不要、無料  
駐車場はありませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。
- ・特徴：10台の各望遠鏡に2名の指導者を配置。
- ・問合せ先：水野孝雄(東京学芸大学名誉教授)

\* \* \* \* \*

## 天体観望会を企画・実施するためのノウハウ交換会(夏)

- ・期日：9月2日(日) 受付9時半～ 発表10時～17時
- ・場所：獨協中学・高等学校  
(JR「目白駅」よりバス白61で「椿山荘前」下車)
- ・参加：申込み不要、無料  
駐車場はありませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。
- ・内容：特徴ある観望会、曇天時やトラブルへの対策等の発表をもとに意見交換。望ましくは、前日の観望会で観望していただければ、観望会の企画・実施について具体的な討論ができます。
- ・問合せ先：水野孝雄(東京学芸大学名誉教授)